

都市生活学科

2017年4月
開設構想中

都市生活専修、食ビジネス専修の2専修で、都市化された社会における生活を
さまざまな領域の視点から研究することにより、
質の高い生活を創造・提案できる人材を養成します。

都市生活専修

グローバルな経済構造の変化
や高齢化をはじめとする人口
構造の変化に対応して、生活
実態を総合的に把握し、生活
マネジメントができる女性を育
てます。



身につく力

- ① 生活を組み立てる能力 ▶ 学びを活かした進路
銀行・生命保険などの金融業界など
- ② 暮らし方を選択する能力 ▶ 学びを活かした進路
ファッショニビジネス、繊維・アパレル業界など
- ③ 他者の生活を支援する能力 ▶ 学びを活かした進路
教員、教育業界など

食ビジネス専修

環境に配慮しつつ、生活を豊かにする付加価値の高い商品・サービスや伝統的な生活文化に重点を置いた商品・サービスなどの提案ができる企業活動をマネジメントできる女性を育てます。



身につく力

- ① 創造的に食品を開発する能力 ▶ 学びを活かした進路
食品メーカー、飲料メーカー、製菓・製パン業界、ホテル関係など
- ② 食のマーケティングができる能力 ▶ 学びを活かした進路
デパート、スーパー、マーケット、食に関する卸売小売企業、観光業界など
- ③ 食生活の国際化について理解し、「食」の物語を生み出す能力 ▶ 学びを活かした進路
旅行業者、地域広報誌、都市と農山漁村の交流を促すNPOづくりなど

大学都市KOBE! 発信プロジェクト 『女子大学の魅力発見』

日時 2016年2月22日(月)～3月22日(火)
場所 グランフロント大阪 北館3階 ナレッジキャピタル
「ザ・ラボ3F アクティブラボ内」 後援:神戸市

ワークショップ・地域連携セミナー 場所:北館 ナレッジキャピタル 2F アクティブスタジオ

「花のある暮らしを楽しもう!

ビオラのレジンクラフト体験」(無料・要申込)

日時 3/5(土) 13:00～14:00、14:30～15:30

グランフロント大阪

Grand front Osaka

“大学都市”である神戸市が市内の大学とタッグを組み、大学の魅力を発信するイベントをグランフロント大阪で開催! 神戸松蔭女子学院大学も「女子大学の魅力発見」をテーマに、研究教育成果を展示しています。都市生活学科の学びにふれるワークショップも開催予定! ぜひご来場ください。

神戸松蔭のことがもっとわかる!!

オープンキャンパス 2016

都市生活学科の学びに触れられるイベントを多数開催予定

2016年 3/27(日) 10:00～15:00
(14:30受付終了)

※事前予約不要。当日は時間内にお越しください。
高校1・2年生、保護者の方もぜひご参加ください

大学直通バス臨時便(無料)を運行

オープンキャンパス当日は阪急神戸線「六甲」駅南側バス停、JR神戸線「六甲道」駅山側バス停から運行します。

※オープンキャンパス最新情報は公式サイトでチェックしてください。

〈神戸松蔭へのアクセス〉 ※公共交通機関を利用した場合。

阪急神戸三宮駅	電車 約7分	阪急梅田駅	電車 約25分	阪急六甲駅	神戸市バス⑬約5分
JR三ノ宮駅	電車 約4分	JR大阪駅	電車 約23分	JR六甲道駅	神戸市バス⑬約10分
阪神神戸三宮駅	電車 約5分	阪神梅田駅	電車 約25分	阪神御影駅	神戸市バス⑬約20分
六甲台南口				バス停	徒歩 約5分
					神戸松蔭 女子学院大学

都市生活学科(仮称)を開設

(2017年4月 開設構想中)

2017年、神戸松蔭女子学院大学は「都市生活学科(仮称)」の開設を構想しています。社会の第一線で活躍する3名の女性と本学・竹田副学長が、新学科の展望と、期待される学生像について語り合いました。

神戸松蔭女子学院大学
人間科学部 生活学科
都市生活専攻

株式会社 AMADEUS 専務取締役
上野 流通戦略研究所
代表取締役

竹田 美知 副学長

上野 祐子さん

株式会社 AMADEUS 専務取締役
ダルマイヤーコーヒー＆紅茶・
ジャパンブランドマネージャー

藤田 カルピセク 佳子さん

関西テレビ放送
株式会社
CSR推進局局長

前田 ひとみ さん



女性ならではの視点で、生活の質を向上できる人材を育てる新学科です。

Q.この学科に育ててほしい人材は?

A. 幅広い専門知識とこれまでにない発想を組み合わせ、生活と結びつける術を身につけた人。

Q.この学科に育ててほしい人材は?

A. 食・ブランド業界が求める「女性の生活のスペシャリスト」です。

Q.この学科に育ててほしい人材は?

A. グローバル化が進む少子高齢化社会で、新しい生活スキルを身につけ、生み出せる人材。



さまざまな視点から生活を研究し、質の高い生活を創造・提案できる女性を育成します。

竹田◆本日はお集まりいただき、ありがとうございます。2017年4月、本学に都市生活学科(仮称)を開設する手続きを進めています。「都市生活」という名前ではありますが、その領域は都市にとどまらず、家庭から地域、社会まで、あらゆるステージにおいて、女性ならではの視点を生かして活躍できる人材を育てます。

藤田◆少子高齢化や経済のグローバル化、格差社会など、昨今の日本社会が直面する変化や課題に伴って、私たちのライフスタイルも多様化しています。QOL^{*}の向上を重視する社会において、生活者の視点から質の高い生活を創造・提案していくには、これまで以上に女性の視点や感性が必要になります。そんな社会のニーズに応える学科ということですね。

上野◆それは楽しみですね! 女性の感性や知識を活かせるフィールドは、確実に広がっています。私が取り組んでいる地域活性化や

地域プランディングも、これまで行政を中心となって推進してきましたが、最近は民間、特に女性の参加が目立ちます。

前田◆トレンドや消費の鍵を握っているのはやはり女性ですからね。

上野◆そうなんです。地域を盛り上げる上で、女性のニーズや視点への配慮は欠かせません。生活者として社会の変化を柔軟に受け止め、考え方はもちろん、現実的なノウハウや生活スキルを身につけた女性が、新学科からどんどん出てくれることを期待します。



生活を研究する上で「地域」は重要なキーワードの1つ。現在の生活学科都市生活専攻でも、南九州三県の魅力を再発見し、修学旅行のプランを企画・提案する「ユニバーシティ・カレッジ 南九州」などの活動に参加している

*Quality of Life=生活の質

産学連携プロジェクトなど、社会とつながる機会を増やし、課題を発見・解決する力を養います。

藤田◆具体的には、どのように変わるのでですか?

竹田◆まず、都市生活学科では2つの専修を設置します。1つは衣食住はもちろんのこと、家族や経渉、経営について幅広く学び、生活をマネジメントする力を養う「都市生活専修」。もう1つは生産地から食卓まで、食にまつわるあらゆる知識やスキルをトータルに身につけ、企業をマネジメントする力を養う「食ビジネス専修」です。

藤田◆「食ビジネス専修」は、私の仕事とも関わりが深そうで気になりますね。新学科では、どんなことを学べるのでしょうか?

竹田◆アクティブラーニング科目を充実させる予定です。「産学連携プロジェクト」など、学生が自ら課題を発見し、解決方法を模索するPBL^{*}型授業を2年次から実践していきます。これまでも参加してきた「KOBE “にさんごろく” PROJECT」や、北陸の魅力を発信する「北陸カレッジ」など、さまざまな機会を用意しています。

*Project Based Learning=課題解決



企業や生産者と連携し、神戸の農水産物を使って商品開発を行う「KOBE “にさんごろく” PROJECT」。神戸松蔭の学生が考案した、野菜のタネやヘタを再利用したアクセサリーは2015年度のグランプリに選ばれた

藤田◆地域・食ブランド関連の演習もいいですね。商品企画のプロセスや販売促進方法を、具体的にフィールドワークでシミュレーションできるのは、大学でしかできない体験だと思います。ビジネスの現場では、失敗を気にせず試行錯誤を重ねることは、なかなか難しいんです。

前田◆事業としてお金をかけて行う場合は、結果が求められますからね…。

上野◆だから、学生さんが羨ましいです。大学時代にこんな授業があったら、ぜひ私も受けてみたかったです。

竹田◆「失敗してもいい」のは学生時代の特権ですからね。学生には何事にも積極的に挑戦し、失敗からどんどん学んでほしいと思っています。

上野◆学生さんは、積極的にフィールドワークやインターンシップに参加して、学外へ飛び出してほしいですね。女子大生としての自分が、普段感じているサービスや商品に対する率直な課題や不満を投げかけ、その解決策を企業や地域とともに考え行動するのは、両者にとってとても有意義な機会になると思います。

竹田◆ご指摘ありがとうございます。女性がリーダーシップを取り、積極性やコミュニケーション能力を身につけられるという、女子大の強みを生かして、挨拶や礼儀作法などのマナー教育

ファイナンシャルプランナーや専門フードスペシャリストなど、新たな活躍の舞台も広がっています。

竹田◆上野さんからお話がありましたが、インターンシップにも一層力を入れていきます。学生の希望進路に沿った受け入れ先企業を増やしていくことはもちろん、「食と農 地域インターンシップ」では、食と農に関係する企業や行政機関、農家や農村で研修生として働き、技術や専門知識を深めながら、持続可能な農業、農村の発展を支える取り組みを考え、実践します。

前田◆弊社も毎年インターンシップの学生を受け入れています。ぜひ新学科の学生さんにも来てもらいたいですね。インターンシップでは、自分と仕事、社会がどのように結びついていて、どのように影響しているのかといったことを深く考える力や、大局的、多角的に捉えることができる力を身につけてほしいです。

上野◆学生の間は同世代の限られたコミュニティでの交流がほとんどで、自分の行動や判断が、世間からどう見られるのか、また、それが会社の信頼や評判にも影響するということを意識できている人は少ないですからね。

前田◆そうですね。インターンシップやフィールドワークで、普段とは違う環境に身を置き、社会の一員としての振る舞いが求められるなかで、社会性や責任感を養ってほしいです。また、専門的な知識やスキル以前に、一般的な社会常識は、やはり学生のうちに身につけておくべきだと思います。

竹田◆ご指摘ありがとうございます。女性がリーダーシップを取り、積極性やコミュニケーション能力を身につけられるという、女子大の強みを生かして、挨拶や礼儀作法などのマナー教育

はもちろん、人間性の教育にも注力したいと思います。また、新たにファイナンシャルプランナーや専門フードスペシャリストなどの養成科目を設け、これまで以上に資格の取得³にも力を入れていきます。

CHECK 3

めざせる資格や免許(予定)

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)
- テキスタイルアドバイザー(2級衣料管理士)
- フードスペシャリスト ●社会調査士
- 認定心理士 ●社会調査アシスタント
- 繊維製品品質管理士
- ウェブデザイン実務士 ●上級秘書士 ●司書
- 社会福祉主事(任用資格)
- 臭氣判定士(国家資格) ●アロマテラピー検定
- 消費生活アドバイザー
- ファイナンシャルプランナー
- ブライダルプランナー ●専門フードスペシャリスト

竹田◆学びや資格を生かした進路としては、例えば、衣食住にかかる企業の商品企画やマーケティング職、起業家。生命保険業やブライダル業、金融業など、人々のライフプランにかかる専門家。農と食をつなぐ食のスペシャリスト。地域内外の人と人をつなぐ旅行業や公務員など、多方面での活躍を期待しています。

藤田◆専門分野に特化したスペシャリストにも、幅広い分野を横断して活躍できるジェネラリストにもなるというのが魅力ですね。大学での学びを通して、自分自身や社会と向き合い、しっかりと将来を描く力を身につけるのですね。

竹田◆みなさんのように、さまざまなステージで活躍する女性と出会うことで、学生は視野を広げ、感受性や他者に対する理解を深め、社会や時代を読む力を身につけていくでしょう。新学科は学生にそのきっかけを与え、成長を見守る場所でありたいと思います。本日は、ありがとうございました。



◆ 神戸松蔭女子学院大学
人間科学部 生活学科 都市生活専攻
竹田 美知 副学長

奈良女子大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了。奈良女子大学家政学部生活經營学科助手、大阪府大規模小売店舗立地審議会委員、奈良県「地域の教育力」再生委員会委員を歴任。専門は家族社会学。



◆ 株式会社AMADEUS 専務取締役
ダルマイヤーコーヒー&紅茶・ジャパンブランドマネージャー
藤田 カルピセク 佳子 さん

欧州企業へのサービス提供のほか、ドイツのデリカテッセンブランド「ダルマイヤー」のコーヒー・紅茶の日本総代理店として、全国百貨店などへの輸入卸を行なう。大阪・中之島の旗艦店「Dallmayr Café&Shop」を経営。



◆ 関西テレビ放送株式会社
CSR推進局 局長
前田 ひとみ さん

コンプライアンス推進部(企業広報)、検査部(番組・広告の審査)、視聴者情報部(視聴者対応)、CSR推進部(CSR活動・メディアリテラシー・番組制作)からなるCSR推進局を統括。企業の信頼性を高めるべく務めている。



◆ 株式会社上野流通戦略研究所
代表取締役
上野 祐子 さん

グンゼ株式会社前取締役。国際大学法人愛媛大学アカデミックアドバイザー。広告企画・マーケティング会社を起業して以降、マーケティングプランナー・コンサルタントとして、企業や自治体の活性化、ブランディング、商品開発などに携わる。

*上記の内容は予定であり、変更する場合があります。